

2014年3月期第2四半期連結決算報告 (2013年4月1日～2013年9月30日)

- 上期業績は当初見通しどおり
- コスト削減を反映し前年比で利益改善
- 市場状況は概ね安定
- リストラ施策は計画通り進捗、追加施策を発表
- 2014年3月期満期分借り換えは終了
- 2014年3月期通期業績見通しを修正。最終損益は変更なし

コスト削減を反映し前年比で利益改善

- グループ売上は、3,022億円の前年比16%増収（前年同期2,607億円）が替変動を除くと1%の減収
- 無形資産償却と個別開示項目前営業利益は、コスト削減を反映し92億円（前年同期23億円）
- 建築用ガラス事業は、売上1,195億円（前年同期1,081億円）、営業利益44億円（前年同期損失26億円）
- 自動車用ガラス事業は、売上1,521億円（前年同期1,211億円）、営業利益46億円（前年同期27億円）
- 高機能ガラス事業は、売上301億円（前年同期308億円）、営業利益30億円（前年同期32億円）
- 個別開示項目は60億円。リストラクチャリング費用47億円を含む

市場状況は概ね安定

- 欧州建築用ガラス市場は概ね安定的
- 欧州自動車用ガラス市場は歴史的低水準だが、安定的に推移
- 日本では、建築用ガラス市場は改善。自動車用ガラス市況は前年を下回ったが、円安が完成車輸出を後押し
- 北米では、旺盛な国内需要により建築市場が改善。自動車市場も引き続き堅調
- その他地域では、建築用ガラス市場は市場状況改善、自動車用ガラス市場でも乗用車需要が旺盛
- 高機能ガラス市場は、サブセグメントごとに改善と下降が混在

リストラ施策は計画通り進捗、追加施策を発表

- リストラクチャリングにより、前年比51億円の利益効果
- 今年度中は運転資本水準引き下げに引き続き注力
- 生産性改善は依然主要項目であり、施策を今年度も継続
- 英国コーリーヒルの建築用フロートライン休止の計画を本日発表
- 引き続き収益力改善に注力

2014年3月期通期業績見通しを修正。最終損益は変更なし

- 英国コーリーヒルの建築用フロートライン休止により、2014年3月期通期業績見通しを修正
- 個別開示項目費用は30億円増加し、総額140億円
- 英国における法人税率低下により税金費用30億円減少
- 2014年3月期通期業績見通しにおいて、上記2要因が相殺し、最終損益は変更なし

連結損益計算書



(億円)	14年3月期 4月-9月期	13年3月期 4月-9月期	前年比
売上高	3,022	2,607	16%**
無形資産償却と個別開示項目前営業利益	92	23	
償却費*	(43)	(33)	
個別開示項目前営業利益(損失)	49	(10)	
個別開示項目	(60)	(101)	
営業損失	(11)	(111)	
金融費用(純額)	(94)	(78)	
持分法による投資利益	4	2	
税引前損失	(101)	(187)	
当期損失	(105)	(173)	
親会社の所有者に帰属する当期損失	(111)	(177)	
EBITDA	252	164	54%

*ビルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

**為替変動を除くと-1%

市場状況は概ね安定

2013年11月7日 | 2014年3月期第2四半期決算報告